第39回 小須戸地区芸能祭

ことしも11月９日（日）に開催し、ホールを埋め尽くすほど大盛況でした。

小須戸大正琴愛好会

新津を良くする会

秋葉区ギターアンサンブル

フイフラ オ レイアロハ

ライリッシュオカリナクラブ

G&H

レク・あじさい

もしもピアノの会

小須戸クラシックギタークラブ

小須戸フラサークルオーキッド＆フラサークルピカケ

ギタークラブ「てく・てく」

小須戸老人福祉センター

リバーサイドシネマ

【上映日時】 令和８年１月６日（火）
13時30分～15時20分
【会　　場】 小須戸老人福祉センター
（新潟市秋葉区小須戸3870-2）
【上映作品】 いわさきちひろ（27歳の旅立ち）
2012年制作（96分）

【あらすじ】日本を代表する絵本画家いわさきちひろの誰も知らない波乱の人生。
こどもの命の輝きと平和を描いたちひろの人生を、黒柳徹子、高畑勲を始め、生前のちひろを知る50人以上の貴重な証言から綴る、初のドキュメンタリー映画。
エグゼクティブプロデューサー：山田洋次、監督：海南友子。
全国映連賞監督賞、日本映画復興賞作品賞受賞

※注意事項
・映画のみの鑑賞は、市内60歳以上の方は無料です。
・60歳未満の方および市外の方は、入館料がかかります。
・駐車場が少ないため、お車でのご来館はご遠慮ください。

小須戸アーカイブ's所蔵　昔の写真の紹介 vol.10 「11月・12月の公民館行事」

（協力：小須戸アーカイブ's）

①1980年（昭和55年）囲碁大会

11月23日に日本棋院小須戸支部の秋の大会が行われ、20余名の参加者による盤上火を噴く熱戦が繰り広げられました。

②1980年（昭和55年） 第１回
スポーツ少年団レクリエーション大会

野球、サッカー、剣道、柔道などスポーツ少年団員の親睦を図る「ミニ運動会」が町民体育館で行われ、写真は「紙飛行機飛ばし」を行っている様子となります。

③1990年（平成２年）
社交ダンスクリスマスパーティ

12月22日午後７時より小須戸町社交ダンスクラブ主催のダンスパーティが行われました。華やかな装いの男女が華麗なステップで踊っていました。

こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL（0250）25－5715
FAX（0250）38－5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp

公民館ホームページ

ちょこっと一言

「公民館職場体験の感想」

川瀬　穂華さん

私は、職場体験で小須戸地区公民館に二日間行き、沢山のことを学びました。公民館の方にはよく来ますが、窓口の方には滅多に来ないので、自分にとってとても新鮮でした。職場体験をするのは初めてだったので、緊張したり、とても不安でした。

けれども、この公民館で働いている沢山の方々が明るく私たちを迎えてくださったり、とても優しくて、安心して職場体験をすることができました。一日目は、「リバーサイドシネマ」で上映する映画を見て、ポスターを作成しました。どのようなポスターを作ったら沢山の人が映画を見に来てくれるのかを考えながら作成することが難しかったです。そして、二日目には、アンケートの作成やイベントの広告紙のラミネートをしました。普段自分たちが使用しない道具を使ったりしたので、とてもいい経験になりました。

私は、職場体験で小さい出来事でも、誰かの為に必ず役立つことを改めて理解しました。

将来、自分のためではなく、誰かのために役立つような仕事に就いてみたいなと思いました。

編集委員のつぶやき
年末年始に行われるスポーツ観戦が楽しみなのです。現地で応援はできなくても、TVの前で熱い応援を。
食べ過ぎ飲み過ぎに注意しながら。（よ）

「新潟県公民館大会報告」及び「永年勤続者表彰」

左から順に表彰を受けた
小見さんと阿達さん

事例発表を行う
吉田館長

９月26日（金）刈羽村生涯学習センター「ラピカ」において、「第75回新潟県公民館大会」が開催され、当館の吉田館長が、「多様な主体と連携して 今年で発行 75 年『こすど地区公民館報』」というテーマで、事例発表を行いました。

併せて、「永年勤続者表彰」ということで、公民館活動協力員として10年間、社会教育・地域振興にご協力いただいた阿達哲二さん、小見健雄さん、横山清さんが表彰されました。

【お詫びと訂正】

11月号の「第 20 回小須戸地区囲碁・将棋大会結果」において、囲碁の部で準優勝した泉田博泰さんの住所が間違っていました。

正しくは「秋葉区 中村」でした。お詫びして訂正いたします。

「新潟市美術展・秋葉区美術展 小須戸地区関係者入賞作品紹介」

第57回 新潟市美術展
新潟市芸術文化振興財団賞

彫刻部門
「CAXIXI　思いの外・・・」
（五十）島　律子さん（矢代田）

大好きなハシビロコウを、今度はダンボールで作ってみました。楽しく作れました。

第19回 秋葉区美術展
奨励賞

写真部門
「女神輿」
穴澤　篤さん（矢代田）

女性だけの神輿渡御、行く先々で水をかけられ歓喜の表情を捉えた一枚です。

クマに注意してください！

新潟県は、10月６日（月）付で発表した「クマ出没特別警報」に基づく「クマ出没警戒強化期間」を令和８年１月31日（土）まで延長することとしました。

冬眠前は、ツキノワグマが活発に活動する時期です。特に、早朝や夕方、夜間はクマの活動が活発です。里山周辺へお出かけの際は単独行動は避けて、鈴やラジオなど音の出る物を身につけて出かけるようにしてください。餌となる果樹や野菜の放置はやめましょう。

にいがたクマ
出没マップ↓

小須戸地区図書室 新刊案内

【一般書】
- 『たくさがわ先生が教えるスマホの困った！お悩み解決超入門』
  たくさがわ つねあき／著 （技術評論社）
- 『はじめてのほうろうバットのおやつ』
  若山 曜子／著 （扶桑社）
- 『身近な野草＆キノコ180種』
  森昭彦／著 写真、水上 淳平／著 写真、西杉山 裕樹／料理監修 （秀和システム）
- 『逃亡者は北へ向かう』
  柚月 裕子／著 （新潮社）
- 『カフネ』
  阿部 暁子／著 （講談社）
- 『生殖記』
  朝井 リョウ／著 （小学館）
- 『LINE/X旧Twitter/Instagram/Facebook/YouTube/TikTokの「わからない！」をぜんぶ解決する本』（宝島社）
- 『月とアマリリス』
  町田 そのこ／著 （小学館）

【児童書】
- 『ひっくりかえるだいさくせん』
  竹与井 かこ／作・絵 （教育画劇）
- 『パンダおやすみたいそう』
  いりやま さとし／作 （講談社）

秋葉区健康福祉課「健康ひとロメモ」

○ヒートショックとは
- 気温の変化によって血圧が上下し、心臓や血管の病気が起こることをいいます。
- 冬場に暖かい所から寒い所に移動して、急激に温度が変わると血圧が大きく変動します。
- 特に10度以上の温度差がある場所は危険とされています。
- 持病がない健康な方にも起こる可能性があります。
- 65歳以上の高齢者に多く、入浴中に起こりやすいといわれています。

○どんな症状があらわれるの？
- ヒートショックが起こると、動悸や立ち眩みがあらわれます。
- 重症化すると、失神や意識障害を招く恐れもあります。

○入浴時に注意することは？
- 入浴前に脱衣所や浴室を暖めておく。
- 湯温は41度以下、お湯につかる時間は10分以内にする。
- 浴槽からはゆっくり立ち上がる。
- 食後すぐの入浴や、飲酒後の入浴は避ける。
- 同居家族がいる場合は、入浴前に家族へひと声かける。

文芸欄

俳句

秋澄むや番神岬の朱の鳥居　馬場　綾子
神の山赤く染めたる秋夕日　吉澤　文子
しなやかにおいでおいでと花芒　とし　こ
オニバスのひとつひとつに飛来鴨　風間　紀子
もしもクマがと恐るる村の柿たわわ　間野　えり
爽やかや地域に優しボランティア　ゆう　子
灯火親し晩年太宰治論　中野　太浪
影を見て背すじを伸ばす冬日和　梅見月文太
冬まぢかバラ剪定し親友へ　ヒメイチゲ
冬の朝夫語らず飯を食べ　風間　岳燁

川柳〈勇気〉

妻と子の寝顔に生きる勇気わく　会田　修
勇気出し出かけてみれば終ってた　保科栄二郎
勇気出ない時には黙る悪い癖　浄　栄
勇気１００倍進学塾で学ぶ今　能登としお

川柳〈自由吟〉

菊の花白や黄色が鮮やかに　奉和　崇
果てし無き宇宙に浮ぶ小さき星　久保みね子
地球に我の存在有りや
カマキリの腹太くなり秋深し　こ　み　け
クモの糸長く枝から枝へ

短歌

俳句・川柳・短歌募集　題材は自由（お一人一句または一首）。住所・氏名（ペンネーム可）、電話番号を明記し、小須戸地区公民館へ。**締め切りは印刷業者の年末年始の休業の都合上、12月19日（金）となります。**ご理解の程、よろしくお願いいたします。

山の手コミュニティ協議会

ひかり全開！
学校と地域がワクワクでつながる冬！

現在、山の手ふれあいまつりで披露した「山の手コミ協 創立20周年記念イルミネーション」を、ふれあい会館玄関にて展示しています。来館される皆さんをやさしく照らし、地域に温かな灯りを届けています。

さらに、12月19日（金）には、矢代田小学校４年生と一緒に、地域を明るく元気にするイルミネーションづくりを行います。完成した作品はその後展示され、ご覧いただけます。

子どもたちの豊かな発想が輝く作品を、どうぞお楽しみください。

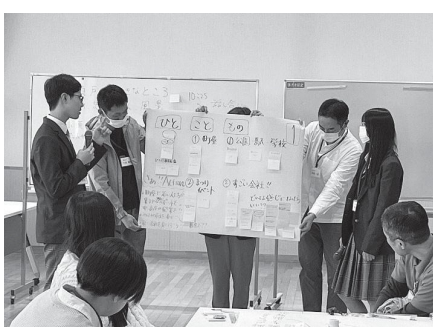
小須戸コミュニティ協議会

小須戸まちづくりフォーラムを開催しました。

11月15日（土）、まちづくりセンターにおいて、地域を活性化するアイディアを出し合う「小須戸まちづくりフォーラム」が開催されました。

当日は長崎秋葉区長をはじめ、一般参加者16名、大学生１名、高校生11名が参加し、ワークショップでは「小須戸の好きなところ」「小須戸がどんなまちになったらよいか」「さあ、何をやろうか」といったテーマで、やってみたいことや“あったらいいな”と感じるアイディアを出し合いました。グループ発表では、高校生・大学生など若い世代が堂々と発表を行い、多くの気づきと前向きな意見が生まれました。

参加者それぞれにとって、学びと発見のある有意義な時間となりました。この日出されたアイディアの中から、一つでも多く形にしていけるよう、今後も取り組みを進めていきます。



小須戸まちづくりセンター年末年始の休館日について
12月29日（月）から1月4日（日）まで 小須戸地区図書室の本も返却できません。

バックナンバー
カラー版館報